



地元の熊本が地震に襲われて、防災・減災を意識し始めた。就職活動中の矢野杏奈さんが日特建設を選んだのは、社会に貢献できると共感したからだ。女性技術者というだけで注目されるときもあるが、担当した現場の発注者からお礼の連絡が届くほど信頼を積んできた。建設業が仕事の選択肢になるよう、後輩のロールモデルになりたいと語る矢野さん。今後の目標などを聞いた。

● 技術職を選んだきっかけ

地元の熊本から離れ、青森の大学で学んでいた。就職先も行政を意識していましたが、2016年の熊本地震によって目標が大きく変わります。

TV画面の向こうには、見慣れた場所が変わり果てた姿で映り、驚きとともに胸が痛みました。私にできることは何かないか、復興の手助けをしたい、その思いが強くなり日特建設を選びました。

● 現場の魅力や責務

主な仕事は、地盤改良や法面工事です。構造物に埋もれてしまう地盤改良は、施工前後の結果が見た目にわかりにくく、縁の下力持ちな役割。トンネルや橋梁のように目立つ工事ではありませんが、例えば「しっかりと施工してくれたおかげで、安心してビルが建てられます」と、発注者さんからの声を聞き、非常にやりがいを感じる事もしばしばあります。自然相手の現場では、計画通りに進まないこともあります。だからこそ挑戦しがいがあるし、もっと経験を積みたいと思います。

● 仕事のこだわりやポリシー

入社一年目は上司や先輩のおかげで、性別の壁を感じませんでした。ところが、ひとりで現場を任せられると少し悪しは別にして、「女性技術者」と驚かれることも多かったです。だからこそ、担当現場では、元請さんや協力業者さんの胸を借りるつもりで飛び込み、良い関係を築けるよう努力します。会話が弾むと、仕事のヒントや私自身が把握しておいた方がいい情報も見えてくる。チームワークで動く現場は、風通しがよければ、情報共有もスムーズに行え、安全にもつながります。

また、書類を作成するにしても、必要な書類は揃っているか、上司ならどうするかなど客観的視点を心がけています。そうする事で、より仕事への理解も深まっています。

担い手シリーズ 17

人とのつながりから 見えてきた、自分が求める 新しい未来

矢野 杏奈 入社3年目(工事課)
日特建設株式会社 九州支店



● 印象的な仕事

最初の現場は、熊本地震による斜面崩落の復旧工事でした。震災復興の仕事にも関わっている会社と知って入社を決めました。こんなに早く実現するとは思っていませんでした。初日に慣れない車を走らせて、濃霧の中、現場に向かったのを覚えています。

先輩方に付いて行くのが精一杯でしたが、工種も人も多かったため、学ぶ事が非常に多かったと振り返ります。初めて法面からロープで下がって管理をしましたが、地上数百メートルの景色は忘れられません。地震から4年経過し、復興関連のニュースが映る度に、地元の復興に微力ながら携われた事を嬉しく思います。

● 今後の目標と、技術職を目指す人へ

社会や会社に貢献できる技術者を目指します。まずは、技術士の資格取得が当面の目標です。今後はICT活用機会もさらに増えてきます。将来は、技術関係にも携われるようキャリアを積み上げたいと思います。

業界を取り巻く環境は、目まぐるしく変化しています。これからどういう働き方ができるのか、どう変えていきたいか、話し合う機会も増えてきました。性別は関係ありません。同じ建設業で働く仲間として、一緒に頑張りたいと思います。



矢野 杏奈 (やの あんな)
熊本県出身。北里大学 獣医学部 生物環境科学科。平成30年4月 日特建設(株) 入社
会社概要
日特建設(株)九州支店
〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館
TEL. 092-271-6461 FAX. 092-271-6482
<https://www.nittoc.co.jp>